

春雨が続き、満開だった桜もすっかり葉桜になってしまいましたね。

ここ、栃木県小山市では、本当に春らしい、暖かく穏やかな天気が続いています。

さて、今月も引き続き、ここアジア研修センターの様子をご紹介します。

先月は、ここで通常行なわれている授業風景をお届けしましたが、今月はこの季節らしく、授業の一環で行われたお花見の風景をお届けしたいと思います。場所は小山市の城山公園という城址公園で、この時期になると地域の人々がたくさんここを訪れ、桜を楽しむ場所になっています。当学院では1日8時間授業を行う為、講師陣もこういった船とムチを上手く使い分け、効率良く授業を行っています！

「日本で桜を見ることが出来て、とても嬉しかったです！」 研修生一同

講師からのコメント 〈林 蓉子先生〉

私は中国の上海出身です。現在は日本国籍を取得し、日本で生活していますが、日本に来る前に持っていた日本のイメージの中の1つに、[桜]がありました。中国人のみならず、外国の方はきっと日本の国花である桜に対し、特別なイメージを持っていると思います。桜の魅力はその花の美しさもさることながら、本当に短い期間しか見ることの出来ない、その儚さにあると思います。この満開の桜を、是非このアジア研修センターで日本語の学習をしている研修生の皆さんにも見てもらいたいと思い、修了試験後のご褒美としてお花見を企画し、一緒に出掛けて来ました。私が予想していた以上に研修生の皆さんが喜んでくれたので、本当に有意義な時間が過ごせたと思います。



☆ 中国人研修生とベトナム人研修生の皆さん。中央は引率の林先生。☆



(しおはま)
私が寮の管理を
しています！

特別企画 塩浜さん独占インタビュー！（アジ研 寮管理人）

私共が運営する[アジア研修センター]は、宿舎と教室が一体になった施設です。

多い時では100名以上の研修生の皆さんをお預かりする事もあるため、住み込みで管理できる人がどうしても必要です。そこで今月は、当施設の管理人であるこの人〈塩浜 広海〉さんに登場してもらい、寮の管理について語って頂きました。研修生からは（おじさん）と慕われる彼の談話をお楽しみ下さい。

談話：塩浜さん「私は、以前に栃木県の養護学校で用務員をしていた経験があり、破損箇所の修繕や、庭木の剪定・除草作業等が業務の中心になっています。最も心掛けていることは、生活環境面での支障を無くし、約1ヶ月という短い滞在期間の中で、研修生の皆さんに気持ちよく勉強できる環境を整えていってあげる事です。

また、施設する時や夜間に見回りを実施し、時には注意しながら、時間を守るという意識を持ってもらう努力もしています。

ここにやって来る研修生の皆さんは、自分の子供や孫のような年齢の方々なので、親心のような気持ちを持ちながら接して行きたいと思っています。」

非常に人柄が伝わってくるコメントだったと思います。そんな塩浜さんの一番の苦勞を聞いてみたところ、（言葉が通じないこと）だそうです。塩浜さんのみならず、それぞれが、それぞれの役割の中で、〈どれだけ研修生の皆さんの力になれるか・・・〉これがアジア研修センターでのこれから先、いつまでも尽きる事の無い、大きな大きなテーマなのです。